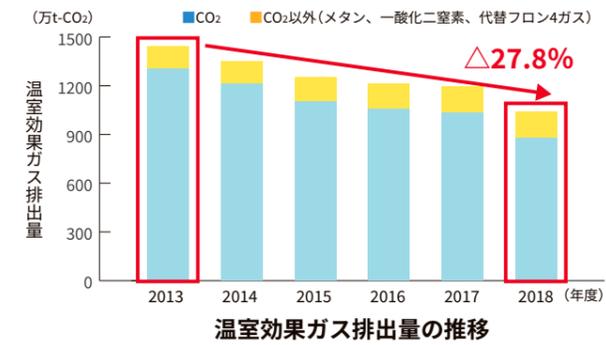


# 熊本県の温室効果ガス排出量の現状

県の温室効果ガス排出量は、2013年度をピークに5年連続で減少しており、2018年度には基準年度(2013年度)比で27.8%の削減となっています。



# “ゼロカーボン社会くまもと”を目指して

県は、2019年12月、国に先駆けて“2050年県内CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ(ゼロカーボン)”を目指すことを宣言しました。2021年7月には『第六次熊本県環境基本計画』を策定し、2030年度に向けた新たな温室効果ガス削減目標を定め、取り組みを進めています。

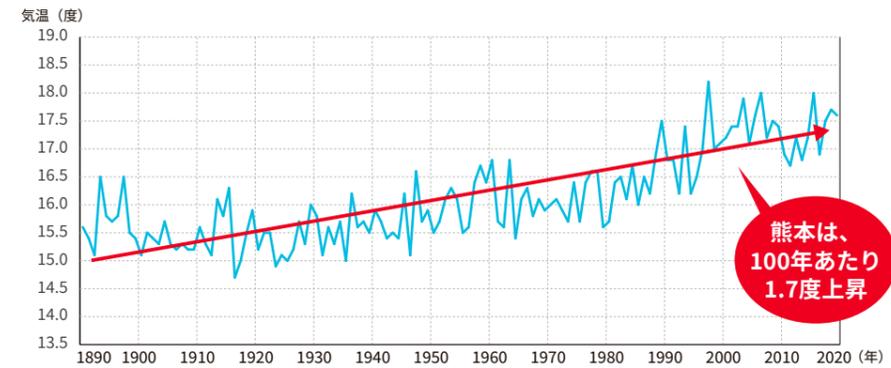
## 地球ってほんとうに温暖化しているの？

世界の平均気温は、2012年までの約130年間で0.85度上昇。県の平均気温は100年あたり約1.7度上昇しており、そのペースは世界を上回っています。

今以上の対策を取らなかった場合、21世紀末の県の平均気温は、20世紀末と比べて約4度上昇すると予測されています。



## 気温上昇による気候変動が現実のものに

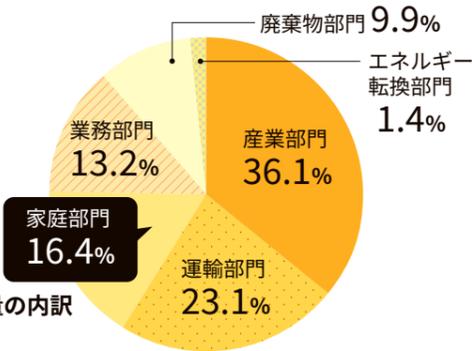


熊本は、100年あたり1.7度上昇

部門別内訳では、産業部門が36.1%、運輸部門が23.1%、家庭部門が16.4%排出しています。



温室効果ガス排出量の内訳 (部門別、2018年度)

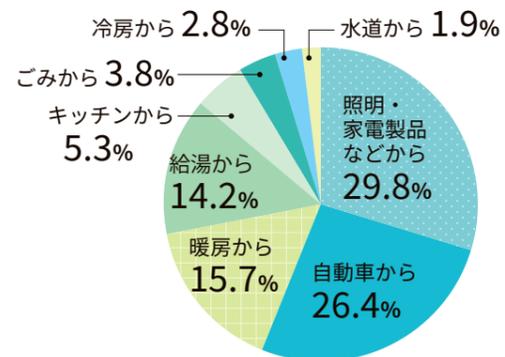


出典 くまもとゼロカーボン行動ブック

## 家庭でもゼロカーボンに向けて

家庭では、照明・家電製品、自動車などの使用に伴いCO<sub>2</sub>が排出されています。

各家庭で『ゼロカーボン・アクションくまもと36』を実践し、ゼロカーボンを実現しましょう。

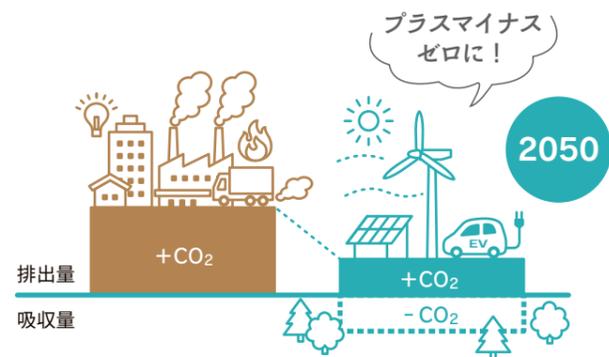


家庭からの二酸化炭素排出量 (2019年度) 温室効果ガスインベントリオフィス (国立環境研究所) のデータを基に作成

## ゼロカーボン(カーボンニュートラル)って？

日常生活や事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>を可能な限り削減し、それでも残るCO<sub>2</sub>を森林などで吸収して、排出量を実質ゼロとすることです。

これ以上温暖化が進まないよう、ゼロカーボンに向けて一人ひとりができることを積み重ねることが必要です。



私たちの生活を便利にしてくれるものは、温室効果ガスが大量に排出される原因にもなっています

例えば

- ・ガソリン車の走行
- ・電化製品の使用 など



## Interview

市内に事業所がある企業もCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいます



### 日本たばこ産業 株式会社

JTグループは、事業を支えている自然への感謝の思いから、森林保全活動を全国9カ所で実施をしています。県内では『JTの森ゆのまゑ』として、2009年からJTグループ社員参加型のボランティアイベントを開催。JT熊本合志からも多くの社員が楽しみながら活動に参加しています。針葉樹の間伐や広葉樹の植栽などを行ない、多様な生物と共生できる豊かな森づくりを目指しています。また、2015年以降は本活動を通じて県の森林吸収量認証を受けています。



### 株式会社 星山商店

日本の産業の中で鉄鋼業界が最もCO<sub>2</sub>を排出していて、業界各社は環境に対するさまざまな取り組みを進めています。その一つが、原料を鉄鉱石から鉄スクラップへと切り替えることです。鉄スクラップを利用すると、鉄鉱石を原料にするのに比べてCO<sub>2</sub>の排出が約4分の1で済むと言われています。当社も品質の高い鉄鋼が生産されるように、できる限り不純物を取り除いた質の高い鉄スクラップを供給することでカーボンニュートラルに貢献しています。



代表取締役 星山一憲さん